

## ホームページ掲載内容

同意の取得について（観察研究の場合）：

今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

Heilcal Tomotherapy を用いた全身照射における伝達線量評価(後ろ向き研究)

研究責任者：放射線科 教授 笹井 啓資

研究分担者：放射線部 技術員 磯邊 哲

研究の意義と目的：

白血病や悪性リンパ腫の治療法である骨髄移植の前処置として全身への低線量放射線照射は必要な治療です。しかし、局所の放射線治療と異なり全身を標的としているため、従来の治療法では放射線線量が体内に均等に照射することが困難でした。近年開発された高精度放射線治療装置 Heilcal Tomotherapy を使用すると、ほぼ均等な線量を照射することが可能です。しかし、治療前に行うCTを用いた治療計画時と全く同じ体位・姿勢を再現することは困難です。また、装置の構造上、位置修正能力には修正不能な方向（回転）が存在します。以上の不確かさによる、治療計画と実際に照射された線量分布とのずれを評価することは必要です。

Heilcal Tomotherapyでは放射線治療時にかならず位置確認用のCTを撮影します。本研究では、この治療前に取得した位置合わせCT画像を使用して、実際に患者様へ照射された線量分布を計算します。さらに画像変形ソフトを用いて全治療期間の実際に照射された累積線量と治療計画線量を比較して、放射線治療計画時に設定した標的の決め方および位置ずれの許容値の妥当性を評価するものです。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、全身照射の方で、西暦2017年7月1日から西暦2018年3月31日の間に放射線科で全身照射（TBI）を受けた方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

- ・放射線治療計画画像（KVCT画像）、位置照合画像（MVCT）

研究解析期間：承認日～ 西暦2020年3月31日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月

WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版) 及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(2017年2月28日)に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。  
また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線科  
電話：03-3813-3111 (内線) 5508  
研究担当者：放射線部 磯邊 哲